



リスク対策.com 企画協力

ITmedia
Virtual EXPO 2013
 モノづくりパビリオンのご案内

Ver. 1.4

【会期】

2013年9月11日～9月30日 予定

アイティメディア株式会社
 Copyright © 2013 ITmedia Inc.

開催概要



- 名称 ITmedia Virtual EXPO 2013
- 主催 ITmedia Virtual EXPO 実行委員会
- 会期 2013年9月11日～9月30日 (20日間)
- 来場 3,000名想定 (ユニーク来場者数、ものづくりEXPOを含む)
- 企画協力 日経産業新聞 リスク対策.com
- 企画 ITmedia ニュース、ITmedia エンタープライズ
 ITmedia エグゼクティブ、ITmediaマーケティング、
 @IT、TechTargetジャパン
 MONOist、EE Times Japan、EDN Japan、スマートジャパン

今年の注力ポイント①

ITmedia
Virtual EXPO**製品選定に役立つ事例コンテンツを豊富にラインナップ**

製品選定において最も参考となる情報のひとつである事例コンテンツ。今年のバーチャルEXPOでは、先進的な取り組みで効果をあげている企業の情報システム部門担当者に多数登壇いただき、来場者に向けてより有益な情報を提供することを目指します。

**テーマを厳選し来場者の期待に応えるコンテンツ**

今年のゾーンは、いま多くの企業で対策が求められている3つのテーマに厳選して構成します。各テーマに関心を抱いている来場者とコンテンツの関連性を高め、スポンサー企業にとっても見込み度が高い来場者のリストが獲得できる、有益なイベントとなることを目指します。

**横断型のスコアリングで“ホットリード”を逃さない**

本バーチャルEXPOで獲得したリストと、他のセミナーや特集で獲得したリストを付けあわせ、後日スコアリングレポートとしてご提供します。情報収集意欲の高まりを逃さず、効率的なアプローチを可能にします。



2

Copyright © 2013 ITmedia Inc.

今年の注力ポイント②

ITmedia
Virtual EXPO**日経産業新聞の創刊40周年記念イベント、リスク対策.comとのコラボレーションを実現**

本年、創刊40周年を迎える日本経済新聞社の「日経産業新聞」。多くの企業情報を掲載した総合的な情報誌です。日経新聞でも読めない専門性の高いコンテンツを業界・テーマごとに編集した紙面で展開しており、ビジネスのヒントを提供する新聞として、あらゆる業種の読者に支持を受けています。

今回、創刊40周年の記念事業として開催されるフィジカルイベント「日経産業新聞フォーラム」のフォローアップとして「日経産業新聞バーチャルイベント」を実施。こちらをITmediaバーチャルEXPO内のパビリオンとして展開します。新聞紙面を活用した集客により、例年に増してビジネス層の来場が期待できます。

日経産業新聞

NIKKEI BUSINESS DAILY

2013年9月12日開催
予定「日経産業新聞
フォーラム」

ITmedia
Virtual EXPO 2013**リスク対策.com**

3

Copyright © 2013 ITmedia Inc.

ITとモノづくりをテーマにした7つのゾーン(調整中)で構成されます

ITmedia Virtual EXPO 2013

ITパビリオン			モノづくりパビリオン			日経パビリオン
ITインフラゾーン	セキュリティゾーン	マーケティング/データ分析ゾーン	モノづくりITゾーン	組み込み開発 & エレクトロニクスゾーン	エネルギーBCPゾーン	「ニッポンをITから再生する(仮)」
【主なテーマ】 サーバ(仮想化) プライベートクラウド IT運用管理 ストレージ クラウドサービス ネットワーク DWH インメモリDBMS など	【主なテーマ】 標的型攻撃対策 マルウェア対策 暗号化 ログ監視・管理 IPS/IDS セキュリティ教育 モバイルセキュリティ など	【主なテーマ】 Webマーケティング BoBマーケティング BI/BA ソーシャルアプリ開発 ビッグデータ解析 リード管理 など	【主なテーマ】 CAD/設計 CAE/解析 PLM/PDM 3Dプリンタ/スキャナ グローバル設計開発 海外生産 など	【主なテーマ】 組み込み開発 半導体/電子部品 ソフトウェアテスト FPGA スマートデバイス モノのインターネット ロボット など	【主なテーマ】 BCP支援サービス エネルギー継続 安否確認システム 太陽光 発電蓄電池 LED照明 EMS データセンター 半導体/電子部品 スマートシティ など	【主なテーマ】 IT × 医療 農業 環境・エネルギー 防災 など

※「ソースponsor」等により全体のゾーン数が増加する可能性があります。あらかじめご了承ください。

集客導線について

月間3,000万PV/1,000万UBを誇るメディア群を活用し告知集客

- ・当社が運営するIT系7メディア、製造系4メディア、全11メディアをフルに活用して告知集客します
- ・日経新聞社では、日経産業新聞の紙面やフィジカルイベントの会場にて告知集客します
- ・BCPの国内唯一の専門紙リスク対策.comのメールマガジン、セミナー、イベントで告知します。
- ・参加登録ページは共通とし、登録後は各パビリオンをワンストップで回遊する事が可能です

The diagram illustrates the Virtual EXPO 2013 venue map, which is divided into several zones: ITインフラ, セキュリティ, マーケティング/データ分析, モノづくりIT, 組み込み開発, エネルギーBCP, and 日経産業新聞. It also shows an entrance, a lecture hall (講演会場), and a resource download corner (資料ダウンロードコーナー). To the left, logos of media partners are listed under three categories: IT系メディア (including ITmedia, ITmedia エイブイ, ITmedia ニュース, ITmedia エイブイ, ITmedia マーケティング, ITmedia ニュース, TechTarget), 製造系メディア (including MONOist, EETIMES.Japan, スマートソリューション, EDN), and 日経新聞社 (including 日経産業新聞).

※上記会場MAPはイメージとなりますので、変更の可能性がございます。あらかじめご了承ください

8,134

ITmedia Virtual EXPO 2012 の総動画視聴回数

ゾーン・コンテンツ



モノづくりパビリオン全体基調講演 (案)

ITmedia
Virtual EXPO

※下記の候補者をはじめ複数講演者のご登壇を予定

モノづくりの先駆者が見据える「これからの製造業」とは—

シヤトコ株式会社 社長 秦 孝之 (はた たかし) 氏

1981年(昭56年)早大法卒、日商岩井(現双日)入社。06年日本GEプラスチック社長、08年SABI
Cイノベティブプラスチックジャパン社長、10年サビック・ジャパン社長。その後、日産自動車社長の
カルロス・ゴーンから請われ、2011年より現職。



ダイヤ精機 代表取締役社長 諏訪 貴子 (すわ たかこ) 氏

日経WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2013」大賞受賞。
2004年、32歳で代表取締役社長に就任。独自の生産管理システムの導入、熟練技術の継承や若手の育成な
ど、中小製造業が直面する課題に取り組み、さまざまな社内改革を断行。リーマン・ショックや東日本大震
災、歴史的な円高などの危機も乗り越え、3年連続で売り上げを伸ばした。2011年より経済産業省・産業構
造審議会委員も務める。



国内を代表する企業のCIOが考える「情報システム部門の新たな使命」とは—

株式会社資生堂 情報企画部長 提箸 真賜 (さげはし まさし) 氏

株式会社資生堂 情報企画部長。1954年生まれ。77年資生堂入社。鎌倉工場で、生産技術開発、生産管理、原価管理などに約8年間従事した後、本社情報システム部門で生産管理システムの企画・開発を担当。1989年から10年間米国に駐在し、北米の販売・物流システム、生産管理システムの再構築プロジェクトやSCM改革のプロジェクトリーダーを務める。帰国後、経営企画部で生産、物流機能の構造改革などを推進。2008年4月から現職。



日本たばこ産業 IT部長 引地 久之 (ひきち ひさゆき) 氏

80年日本デジタルイクイップメント入社。物流、情報システム、経営管理などを担当した後、94年コンパックコンピュータに入社し、情報システム部門を担当。買収により2002年に日本HPの情報システム本部長、Asia Pacific Global Support, Director就任。08年8月日本たばこ産業入社、09年1月から現職。



ヤマトホールディングス 執行役員 (事業戦略・IT戦略担当) 小佐野 豪績 (おさの ひでのり) 氏

1988年4月、ヤマト運輸に入社。宅配サービスの現場業務やシステム業務に従事し、2003年6月に情報システム課長に就任。その後、関連会社であるヤマトリースやボックスチャーター社長を歴任。2010年4月から、ヤマトホールディングス執行役員を務めている



モノづくりITゾーン

IT技術によってモノづくりの現場や産業構造はどう変わるのか

いま、世界各地で、従来の大量生産ビジネスにとらわれない、新たなモノづくりが生まれています。また、大手メーカーにおいても、新たなモノづくりプロセス確立の取り組んでいます。本EXPOでは、IT技術によってモノづくりの現場や産業構造はどう変わるのかを探ります。

特別セッション(候補)

『製造業におけるクラウド活用について (仮)』 『3Dプリンタによる設計開発のいろは (仮)』

未定

有限会社スワニー
代表取締役社長
橋爪 良博 氏

×

ユカイ工学株式会社
デザインディレクター
小島 拓也 氏

ターゲット来場者層

製造業のマネジメントクラスから、設計者、開発者まで

主なテーマ

CAD

CAE

PLM/PDM

3Dプリンタ
スキャナ

グローバル
設計/開発

海外生産

組み込み&エレクトロニクスゾーン



デバイス開発の最前線を追う

モノのインターネット (IoT)、センシング、低消費電力技術の発展により、コンシューマ製品のみならず特定用途向け製品においても、モノづくりが新たなステージに入ろうとしています。デバイスが相互にワイヤレス通信を行い、センシングデータをリアルタイムにやりとりし、長寿命で駆動する機器の登場は、私たちの生活や利用スタイルを劇的に変える可能性を秘めています。またこれらの要件と共に、リッチなユーザー体験を与える高性能・高品質のデバイスはこれまで以上に求められてきます。このようなデバイスの開発を支える組み込みシステムは、ハードウェア、ソフトウェア、開発環境のいずれもが大きな変化を遂げています。ワイヤレス通信技術は更なる小型化・低消費電力化が進み、電源関連技術は低消費電力のみならず環境発電・ワイヤレス給電など様々な分野でイノベーションが起きています。本ゾーンでは新しい時代のモノづくりに向け、エンジニアが知っておくべき技術・製品を紹介します。

特別セッション(候補)

『いま復活を期す日の丸半導体 ～スマート社会にイノベーションをもたらす日の丸半導体技術とは～(仮)』

一般社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA)
半導体部会(JSIA) 部会長
齋藤 昇三 氏

『Arduinoによるフィジカルコンピューティング (仮)』

Co-founder of Arduino
Massimo Banzi



ターゲット来場者層

主なテーマ

デバイス開発に携わるあらゆるエンジニア、マネージャ

組み込み開発

ワイヤレス通信

パワー半導体
環境発電
ワイヤレス給電

センシング

計測器

FPGA

10

Copyright © 2013 ITmedia Inc.

BCP/エネルギーゾーン



事業継続とスマートなエネルギー活用に向けて

BCPとエネルギーの重要性が高まる中で、企業や自治体、公共施設において、さまざまな取り組みが実施されています。BCP/エネルギーゾーンでは、企業の事業継続を支えるソリューションや、効率よくエネルギーの最適化/低減を図る「EMS」など、スマートなエネルギーソリューションとして注目される製品/サービスや、これらの導入/活用事例などの最新情報をお届けします。

特別セッション(候補)

『神奈川県が進める
再生可能エネルギーの導入構想 (仮)』

神奈川県知事
黒岩 祐治氏



『太陽光を主要エネルギー源とした
まちづくりは可能か? (仮)』

東京大学教養学部 附属教養教育高度化機構
環境エネルギー科学特別部門
客員准教授
松本 真由美氏



ターゲット来場者層

主なテーマ

国、自治体、病院や学校などの公共団体、企業の
- 太陽光発電の事業担当者
- 省エネ創エネ製品/サービスの導入担当者
- 節電・環境対策従事者
- IT技術者/情報システム部門担当者
- 上記に携わる建設、設計施工会社や販売店など

太陽光発電
パソコン

BEMS
HEMS
MEMS
FEMS
見える化

LED照明
スマートシティ
蓄電池
ガス空調
ガスコージェネ

11

Copyright © 2013 ITmedia Inc.

会場構成



出展社ブース



ウェブキャストや資料の提供、チャットやメールを通して来場者とのコミュニケーションを行う、貴社専用のスペースです



- ① **ブースチャット**
ブースの来場者とチャットで会話をすることができます。また、会話の履歴はレポート画面から確認することができます。
- ② **このブースについて**
企業情報やブースで出展しているコンテンツの情報を掲載することができます。
- ③ **資料**
カタログや技術文書などの資料データを掲載することができます。閲覧者のリストを獲得することができます。
- ④ **ウェブキャスト**
ウェブキャストを掲載することができます。視聴者のリストを獲得することができます。
※プラチナ/ゴールドプランのみ
- ⑤ **お問い合わせ**
ブース来場者からの問合せを受け付けることができます。メールでの問合せなので、回答は後日という運用も可能です。
- ⑥ **プレゼント**
ノベルティなどのプレゼントを提供(応募受付)することができます。アンケート回答者のみ応募などの条件設定も可能です。
- ⑦ **アンケート**
ブース来場者にアンケートを実施することができます。回答結果はレポート画面から確認いただけます。

6,698

ITmedia Virtual EXPO 2012 の資料総ダウンロード数

スポンサーシップ



ITmedia Virtual EXPO 2013スポンサープラン



	プラチナスポンサー	ゴールドスポンサー	シルバースポンサー	お試しプラン
リスト提供				
出展ゾーン来場者リスト	●	なし	なし	なし
自社ブース来場者／自社コンテンツ閲覧者リスト	●	●	●	自社コンテンツのみ
出展パッケージ				
ロゴ掲載	●	●	●	なし
ブース（アンケート、チャット、問合せ）	●	●	●	リスク対策.com ブース内
ウェブキャスト（撮影、制作）※ウェルカムムービー含む	1本	1本	なし	なし
ブース／カタログセンターへの資料掲載	10点まで	10点まで	10点まで	1点のみ
期間中の登録者への誘導プロモーション	事務局メール内での紹介、ピックアップコンテンツでの紹介	事務局メール内での紹介	リスク対策.com メールでの誘導	リスク対策.com メールでの誘導
スポンサー料金（税別、クロス料金）	¥3,000,000	¥1,500,000	¥600,000	¥200,000
想定提供リスト数	約700～1,000件	約200～250件	約150～200件	約50～100件

- ※ 複数ブースでの出展は高いグレードを基準に追加分を30%OFFでご出展いただけます。
- ※ ウェブキャスト制作時に撮影した講演動画は無料でご提供させていただきます。完パケ納品をご希望の場合はオプションプランをご覧ください。
- ※ オンラインレポートでのリスト提供は「**自社ブース来場者／自社コンテンツ接触者リスト**」です。
- ※ 「出展ゾーン来場者リスト」のリスト提供は、**会期終了後にリストデータとして納品**させていただきます。
- ※ 想定獲得リスト数は前回実績をもとにした数値です。ゾーン、コンテンツにより大きく上下することがありますので、ご了承下さい。
- ※ プラチナスポンサーにおける「ピックアップコンテンツ」での掲載は全10点の中から1点のみを掲載いたします。

御社だけの特別セミナーを開催！



Virtual EXPOで集めたユーザーと、
リスク対策.comの購読者を対象に、
御社だけのセミナーを開催します。

集客数100名～150名

魅力あるセミナーを企画します。

- 講師の選定、
- 会場の設定

通常価格150万円→100万円

プラチナスポンサー
ゴールドスポンサー
シルバースポンサー限定

開催までのスケジュール

2013年 6月						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24	25	26	27	28	29

2013年 7月						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18 締切	19	20
21	22	23 集客開始	24	25	26	27
28	29	30	31			

2013年 8月						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1 二次締切	2	3
4	5 撮影・出展準備	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2013年 9月						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11 開幕	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30 閉幕					

※ スケジュールは現時点での予定です。変更になる場合もございますので、ご了承下さい。

プロモーションプラン（予定）




ITmedia Virtual EXPO特設サイトでの情報発信と告知・集客

特設サイトでは、基調講演や特別講演、各パビリオンの情報、出展企業様の出展内容を紹介しします。

また、各メディアに掲載されるEXPO関連の記事の集積し、開催までの期間、本特設サイトを中心に、読者に向けて情報を発信します。

【特設サイトコンテンツ（前回）】

- ・パビリオン情報
- ・基調講演、特別講演情報
- ・出展企業情報
- ・バーチャルイベント紹介
- ・EXPO関連編集記事リンク
- ・EXPO紹介ムービー
- ・EXPO公式Twitter など

前回特設サイト

当社保有リスト約3.5万件に招待メールを配信

過去に当社主催で実施したイベント、オンラインセミナーにご来場いただいた方は、延べ3.5万人に上ります。このようにイベントへの参加意欲の高い方々にご案内メールをお送りします。

また、今後当社が行うセミナーでも、来場者に対してチラシ、メールなどで告知を行います。



当社運営メディアを活用した告知・集客

当社が運営するB2B向けメディア群には、月間1000万UBもの方が訪れます。その読者の方に向けて、ウェブサイトやメールマガジンで告知・集客を行います

前回告知実績

バナー広告：約1億8000万imp

メールマガジン：約700万通



延べ約20,000名のITmedia Virtual EXPO登録者への告知

過去4回実施したのITmedia Virtual EXPOにご登録をいただいた方、延べ約2万名に向けて今回のご案内メールをお送りします。

半数以上の方にご満足いただき、また、次回の来場意欲が高い方が多くいらっしゃいますので、今回も多くの方にご来場いただけると思います。



日経産業新聞、リスク対策.comのメディアを活用した告知・集客

メディアスポンサーとしてご協力いただく他のメディア企業様の読者に向けても告知・集客を行う予定です。

リスク対策.com

18

Copyright © 2013 ITmedia Inc.

ウェブキャストの仕様



コンテンツ構成に応じて、貴社のWebキャストを作成いたします

①講演タイプ

講師動画とスライドの2画面



■構成：講師動画＋スライドの2画面

- ①チャプター（スライドのタイトル）
- ②スライド（PPT）
- ③講師動画
- ④プレイヤー

②対談、デモ、ツアータイプ

動画部分のみ1画面



■1画面

- ①チャプター
- ②動画
- ③プレイヤー

<注意点>

長いウェブキャストは離脱率が高いため、コンパクトにまとめることをお勧めします（15分以内推奨）

スライド部分は**文字がにじむ場合がございます**。

視聴者に見やすいフォントサイズとして、フォントサイズ18ポイント以上を目安としております。

19

Copyright © 2013 ITmedia Inc.

ウェブキャストコンテンツ構成例



コンパクト (クロマキ) タイプ (10分まで)



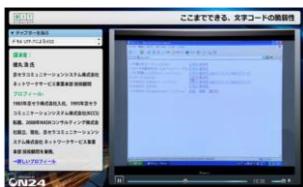
構成：冒頭+最後まで+強調ポイントは、人物登場、その他は、資料を強調（PPTアニメーション+ナレーションのみ）ポイントのみを絞った短時間の動画により製品やサービスを訴求するのに最適なタイプです。

講演タイプ (60分まで/講師一人のみ)



構成：講演者の動画+PPTスライド
実際の講演の収録や詳しい技術説明などのさいにご利用ください。

デモタイプ(5~10分推奨、60分まで)



ソフトウェアのデモ画面やハードの動きなどをメインに取り上げたい場合にご利用ください。

ツアータイプ (60分まで)



イベント会場などでのデモを収録したショートムービーになります。

100.5min.

ITmedia Virtual EXPO 2012 の平均滞在時間

バーチャルイベントとは



バーチャルイベントとは



バーチャルイベントとは実際に行うイベント(フィジカルイベント)とは異なり、オンライン上に特定の仮想イベント空間を生成し、様々な情報やコミュニケーション手段を提供するサービスです。

実際のセミナーや展示会と同様の価値を、時間と場所の制約を受けることなく提供することが可能になります。さらに、詳細なレポートや来場者の行動履歴を把握でき、“今フォローすべきリスト”を効率的に判別することができます。



22

Copyright © 2013 ITmedia Inc.

バーチャルイベントならではのメリット



① 日本全国にアプローチ

日本で実施されている展示会の多くは、首都圏を会場に行われており、地方在住の方々は参加したくてもできないという現状があります。一方、出展企業の方々も、展示会を通じた地方の潜在顧客へのアプローチはまだできていないのではないのでしょうか。ITmedia Virtual EXPOは、インターネット環境があれば、日本全国から来場することができる展示会です。普段展示会に訪れることができない地方の方々も集まりますので、出展企業の方にとって地方在住の潜在顧客にアプローチできる機会になります。



② 簡単に出展でき、かつ詳細な来場者レポートを取得

フィジカル展示会に出展する場合、展示物やパネル、配布資料などの準備に当日まで大きな手間がかかるといえます。一方、ITmedia Virtual EXPOでは、カタログやウェブキャストなどのデータをお送りいただくだけで、出展の準備は完了です。このように、簡単な準備で出展できるITmedia Virtual EXPOですが、得られる情報は詳細です。来場者がどのコンテンツを閲覧したのか、どのくらいブースに滞在したのか、ブースの中でどのような行動をとったのかなどのデータが手に入り、適切なアプローチができます。



③ フィジカル展示会と比較した際のコストメリット

フィジカル展示会に出展する場合、出展料の他に、装飾代や人件費などのコストがかかります。また、セミナーに講演者として参加する場合も、別料金の場合が多いかと思えます。ITmedia Virtual EXPOでは、出展料以外のオプション料金がほとんど発生しません。また、ゴールドスポンサー以上ではセミナー（ウェブキャスト）もセットになっているため、コストの面でも大きなメリットがあります。



フィジカル展示会 ・ 出展料(2日間) + 装飾 + 人件費 ・ セミナー講演料	約200~300万円	ITmedia Virtual EXPO ・ ゴールドスポンサー (ブース、ウェブキャストなど)	約150万円
--	------------	---	--------

23

Copyright © 2013 ITmedia Inc.

来場者の行動がすべてわかる“オンラインレポート”



来場者のプロフィール情報は、オンラインによるレポートサイトからリアルタイムでご確認いただくことができます。これにより、貴社コンテンツの接触状況をもとにした、すばやいフォローアップをしていただくことが可能になります。

- 【オンラインレポートの特長】
- ・ Webキャスト、掲載資料、チャットなどの来場者の**接触履歴をリアルタイムで確認**
 - ・ 接触履歴から来場者の**関心度合いを把握**することで、優先度に応じた対応が可能
 - ・ xls形式でダウンロードし加工することで、**様々な分析やスコアリング**が可能

- 全来場者の登録データと行動サマリーを一覧表示
- 各来場者のアクション内容をすべてレポート



バーチャルイベントだからこそ知ることができる付加価値を持ったプロフィールをご提供します



コスト・手間のかからない出展準備と事務局サポート体制



ITmedia Virtual EXPOは、テンプレートにしたがってデザインを選択していただき、**ロゴ・テキスト・資料データなどを送付していただくだけの簡単な準備**で出展でき、人・モノ・時間すべてのコストを最小限に押さえます。



ご準備いただくもの① スポンサーロゴ
告知ページやバナー、展示ブースに掲出されるロゴデータをご入稿いただけます。



ご準備いただくもの② 各種テキスト
出展概要や、掲載コンテンツの紹介文などを作成していただき、ご入稿いただけます。



ご準備いただくもの③ 掲載コンテンツ
ブースやカタログセンターに掲載されるコンテンツやウェブキャストのデータをご入稿いただけます。

また、出展準備に際してはマニュアルとオペレーターのサポートがありますので、初めての方もご心配なく出展いただけます。



ご準備いただくものや出展までの流れをマニュアルでご説明いたします



バーチャルイベント運営事務局のオペレーターが個別のご質問にもお答えいたします

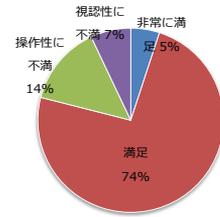
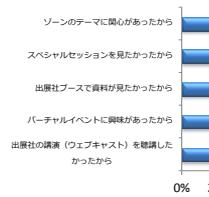
ITmedia Virtual EXPO 2012開催実績



名称	ITmedia Virtual EXPO 2012	出展企業 (44社)	アシスト ad:tech 日本事務局 アドバンテック EMCジャパン EMCジャパン RSA事業部本部 イノベーション インターネットイニシアティブ インデル ウインドリバー ウチダスベクトラム SDL Tridion エヌ・ティ・ティ・コミュニケー ションズ エルピーアイジャパン 大塚商会 グローバル ナレッジ ネットワーク コンカー CompTIA日本支店 CA Technologies シスコシステムズ合同会社 情報セキュリティ大学院大学 ショーケース・ティービー	Skeed セールスフォース・ドットコム ソフトウェアアクレイドル ソリッドワークス・ジャパン デル ドリーム・アーツ トレンドマイクロ 名古屋情報技術本委員会 日本アイ・ビー・エム 日本オラクル 日本ペリサイン ハートランド・データ PTCジャパン 日立製作所 ヒューマンセントリック 富士通 富士通ラーニングメディア マカフィー (50音順、敬称略)
会期	2012年9月11日(火) 10:00~9月28日(金)			
登録者数	6,614名			
総来場者数	4,145名 (主催者、出展社除く)			
平均滞在時間	100.5分 (主催者・出展社除く)			
資料総DL数	6,698回			
Webキャスト総視聴数	8,134回			
リピート率	45% (来場者のうち、日をまたぎ会場を訪れた人の割合)			

■ パビリオン別実績

ゾーン名	クラウド	ビッグデータ	セキュリティ	モバイル	デベロッパ	マーケティング	モノづくりIT	エンベデッド	ラーニング
来場者数	1,413名	997名	980名	1,274名	977名	989名	1,361名	989名	1,030名



来場者の声 (アンケート回答結果より)



● 場所を問わず来場できる

地方の会社にとっては参加できるイベントに限られてしまうので、今回のアクセスが容易であるイベントをもっとやって欲しい。

今回は興味のあるものを片端からマイバッグに入れて持って、あとでじっくり・・・と思っているうちに閉幕目になってしまったのですが、育児等の諸事情で出張ままならない身としてはこういったバーチャルイベントが増えると大変助かります。これからも期待しています。

名古屋にいますので、東京のイベントにはなかなか参加できない。自席から参加できるのがよかった。

通常のイベントに参加できない地方のものとしては嬉しいので、今後も続けてほしいです。

このようなイベントには始めて参加しました。確かに不満点はいくつかありましたが、自席から好きな時に参加できるというメリットの方が大きかったです。さらに改良されたバーチャルイベントを期待しています。

● 情報収集が効率的にできる

時間や場所を選ばないのはとても良いと思います。人混みも気にしなくて良い。カタログのダウンロードはまとめてzipになるのは素晴らしいと思う。聞き逃したところをもう一度聞けるのはバーチャルイベントならではの。途中でトイレにも行ける。

実際の展示会と似た感覚でブースを回ることができました。非常に利便性がよく、今後も有効となるツールだと感じます。

出席者は重い資料を運ぶ手間が省けます。

● バーチャルなので参加しやすい

不況のおりを受けて展示会へ行きづらい雰囲気があるため今回のような展示会は有効だと思います。他の分野に対しても適用していただくと幅が広がり参加者の増加が見込めると思います。

私にとって初めての試みでしたが、役立てることが出来ました。知らない分野でも参加しやすい点が何よりだと思いますし、専門の分野だとこのあとメールなどでいろいろやりあうことが出来るのも、今の仕事の流れとしても大変良いと思います。

● 時間を問わず来場できる

なかなか忙しくて実際のイベントには行く事が出来ないで、こういったバーチャルイベントは本当に助かります。もっと普及して、様々なイベントが増える事を願います。

いつでも自由に参加できるのがよかったと思います。今回はもう少しソフト会社の参加にも期待しています。

場所、時間を問わず、イベントに参加できることは大きなメリットでした。リアルなイベントでは都合がつかず、参加できないことがあったのですが、バーチャルが今後主流になるといいですね。今後とも期待しています。

とにかく、スキマ時間を使えるのがありがたい。

実際の会場のように他の人が質問している内容を聞くことは出来ないが、時間を気にせず視聴できたのが良かった。

時間も効果的に利用できて、聞きたいことがピンポイントで探せるのも大変良いと思います。

個人データの取り扱いについて



本EXPOによる取得リストに関する情報になります。お申込み時にご確認いただけますようお願い申し上げます。

本EXPOの個人情報情報は協賛のグレードにより、レポートサイトからご提供いたします。お渡りするデータ(以下、「本データ」といいます)は、本EXPO来場時にご協賛企業様に対する個人情報等の提供に同意された方のリストとなり、詳細は下記1.のとおりです。なお、本データは、今回弊社が本セミナーご協賛企業様としてご参画頂きました各社様に開示するものであり、各社様における本データのご利用に際しましては、個人情報保護法施行を鑑み、下記2.および3.に定める事項の遵守をお願いするとともに、当該事項の遵守に関して、ご参画企業各社様より「アカウント及び利用規約確認書」をご提出いただいております。何卒、ご理解のほどよろしくお願ひ申し上げます。

1. 本データの詳細

本EXPO来場時に、ご協賛企業様に対する個人情報等(事前登録時に登録した氏名・社名・部署名・役職名・住所・電話番号・メールアドレス・その他のアンケート回答内容、本EXPO内における行動履歴)の提供に同意した方のうち、本EXPOに実際に来場になられた方の当該個人情報等にかかるデータです。

2. 利用時の遵守事項

- ①本データの利用は、本データに記載する個人への貴社からの貴社取り扱い製品等に関する情報のご案内の目的の範囲とします。それ以外の使用に際しては事前に弊社の許諾を得ていただくものとし、また、その利用は事前に弊社の許諾を得た目的の範囲内での利用に限り、
- ②本データのいかなる部分も第三者に対して利用・閲覧させてはならないものとします。
- ③トラブルやその他の事情により、弊社はいつでもご参画企業様における本データの利用を制限できることを了承するものとします。
- ④本データを善良なる管理者の注意において保管管理するものとします。
- ⑤本データ利用の際には、個人情報の保護に関する法律、および各監督官庁の定める個人情報保護に関するガイドライン、その他の適用される法令を遵守するものとします。

3. 特記事項

- ①メール、ダイレクトメール等媒体の如何にかかわらず、本データを利用して個人へ何らかの情報を配信する際には、次の項目を明記するものとします。
 - (1)本EXPO来場時に利用規約に同意された方に対し、ご参画企業様の責任において配信していること、ならびに配信の目的を明示
 - (2)ご参画企業様の基本情報(社名/メールアドレスなどの連絡先)
 - (3)個人の求めにより情報配信の停止をすること、ならびに情報配信を希望しない場合の手続き方法
- ②情報配信、その他連絡を希望しない方々については、電子メールを含む、如何なる方法による情報配信・連絡も行つてはならないものとし、また、当該個人の情報を削除し、一切使用してはならないものとします。
- ③貴社は、貴社による本データの利用に基づき、貴社もしくは弊社に対し、本データに記載する個人よりクレームの主張、損害賠償の請求等がなされた場合、その他の当該個人との間で紛争、トラブルが生じ、もしくは訴訟の提起がなされた場合は、貴社の責任と費用にてこれを処理解決するものとし、弊社は一切迷惑をかけないものとします。

アイティメディア株式会社
バーチャルイベント事務局

28

Copyright © 2013 ITmedia Inc.

個人情報取得のパーミッションについて



本EXPOでは来場時に以下のパーミッションをもって、来場をしていただきます。

プロフィール公開と個人情報お取り扱いについて

本バーチャルセミナーでのプロフィール公開と個人情報お取り扱いについてご案内させていただきます。必ずご一読いただき、ご同意された後、ご登録ください。

■バーチャルセミナーでのプロフィール公開について

本バーチャルセミナーでは、チャットを始めとする会場内でのコミュニケーションの目的で、皆様の個人情報の一部を公開しております。具体的な公開情報は「スクリーンネーム、姓、名、部署、役職、会社名」となっております。なお、ご入場後、ナビゲーション(画面下の帯の部分)における「プロフィール」の「設定」を操作することにより、上記公開情報の内容変更や公開設定をすることができます。ただし、スムーズなコミュニケーションのために公開しておくことをお勧めいたします。

また、本会場では「Vカード(Virtual Business Card)」というものがあり、来場者の皆様にとって会場内で利用する名刺の役割をしております。こちらの内容についても「プロフィール」で確認することができます。さらにブースの担当者や他の来場者と、このVカードを交換することができます。このVカードの交換によってメールアドレスなどの情報が交換されます。コミュニケーションの有効な手段としてご活用ください。

■本イベントサイトの個人情報の取り扱いについて

本イベントサイトのお申し込みの際にご登録いただきましたお客様の個人情報(以下「本個人情報」といいます)は、アイティメディア株式会社(以下「当社」といいます)が本イベントサイトにおける各種サービス(関連情報の提供、受講票送付、その他本イベントサイトに関するお問い合わせなど)への対応を含みますが、これらに限られません)の提供のために利用いたします。

本個人情報は、スポンサー企業へ提供させていただきます。それ以降は、スポンサー企業の責任において管理されます。なお、スポンサー企業から各種お知らせなどの情報提供をさせていただく場合がございます。

お答えいただきましたアンケートは、集計データとして当社およびスポンサー企業が利用いたします(Webサイトなどで公開させていただく場合がございます)。

本イベントサイト内で、お客様がご覧になったページや、ご利用になったサービスおよびご利用内容、ご利用方法、ご利用環境、お客様のIPアドレス、クッキー情報、携帯端末の個体識別情報などの情報(以下「履歴情報」といいます)は、当社が取得し、スポンサー企業に提供いたします。

当社は、お客様の履歴情報やアンケートの回答を、主に以下のような目的で利用します。

本イベントサイトをはじめとした、当社やスポンサー企業が提供しているサービスや広告の内容の充実、改善、あるいは新サービスを検討するための分析・抽出等

当社におけるスポンサー企業についての効果的な広告や情報、サービスの提供についての分析及びその結果のスポンサー企業への提供

当社は、上記各項目に記載する以外は無断で第三者に本個人情報を提供することはございません。但し、本イベントサイトにおける各種サービスを提供するために必要な業務を委託する場合、その他法令等に基づく場合等は、お客様の同意なく本個人情報を、当該目的の範囲内において開示することがあります。なお、本個人情報は、本イベントのシステム提供を行う目的の範囲において米国ON24社において取り扱われます。

その他個人情報の詳しい取り扱いについては、各社のプライバシーポリシーをご覧ください。

29

Copyright © 2013 ITmedia Inc.